

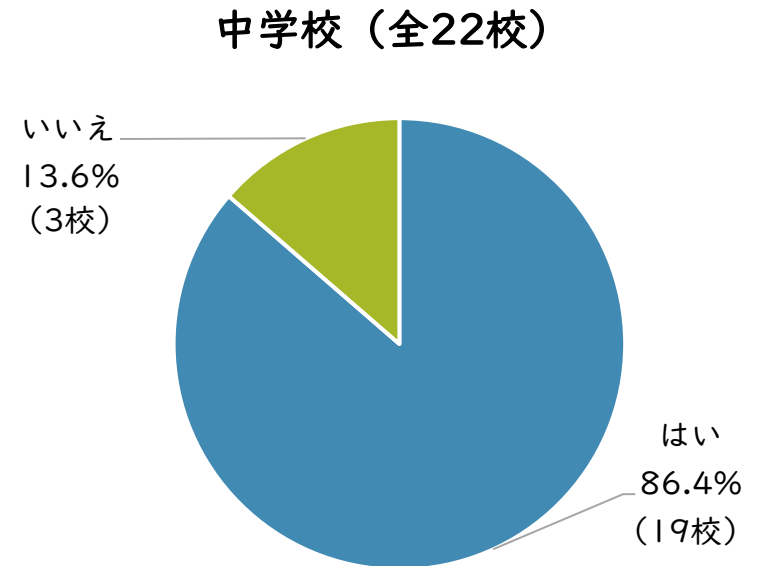
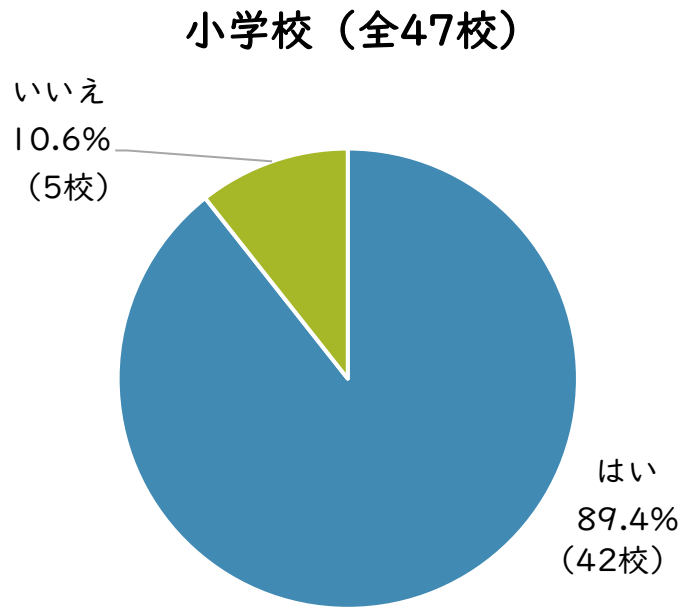
# 学校給食における 食物アレルギー対応の現状 ～弁当・代替食の取扱い状況について～

---

高松市教育委員会保健体育課

# 調査結果

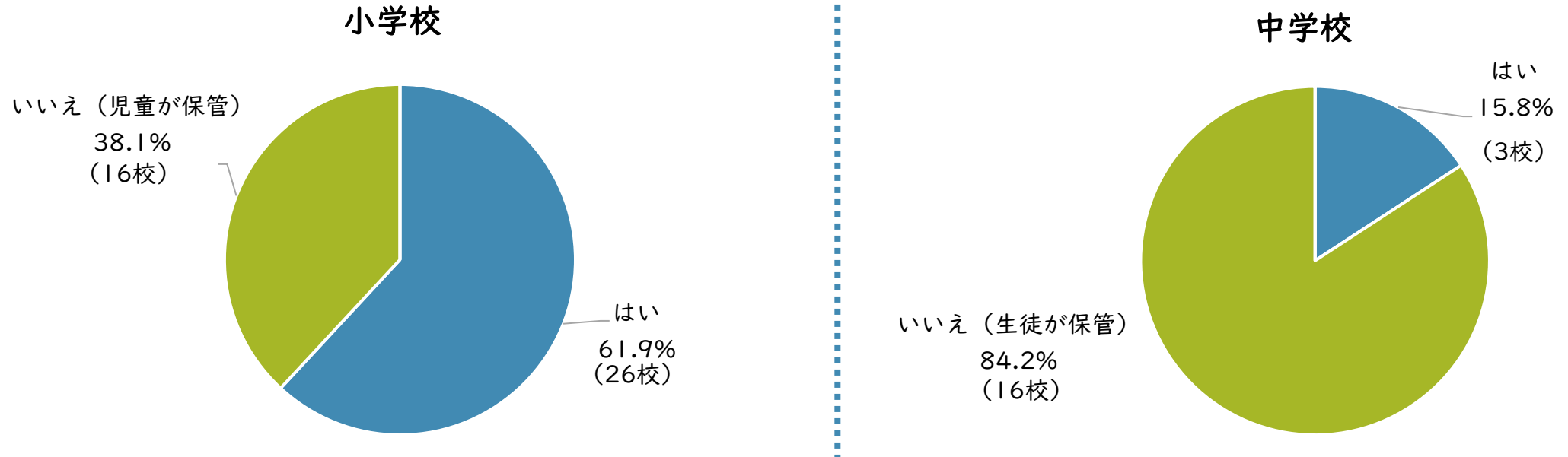
Q1. 弁当・代替食を持参している児童生徒はいますか。



弁当・代替食を持参している児童生徒の割合は、小学校89.4%、中学校86.4%と小中ともに高い割合であった。

## Q2. 弁当・代替食の保管をしていますか。

《持参している児童生徒がいる学校のみ回答（小42校、中19校）》

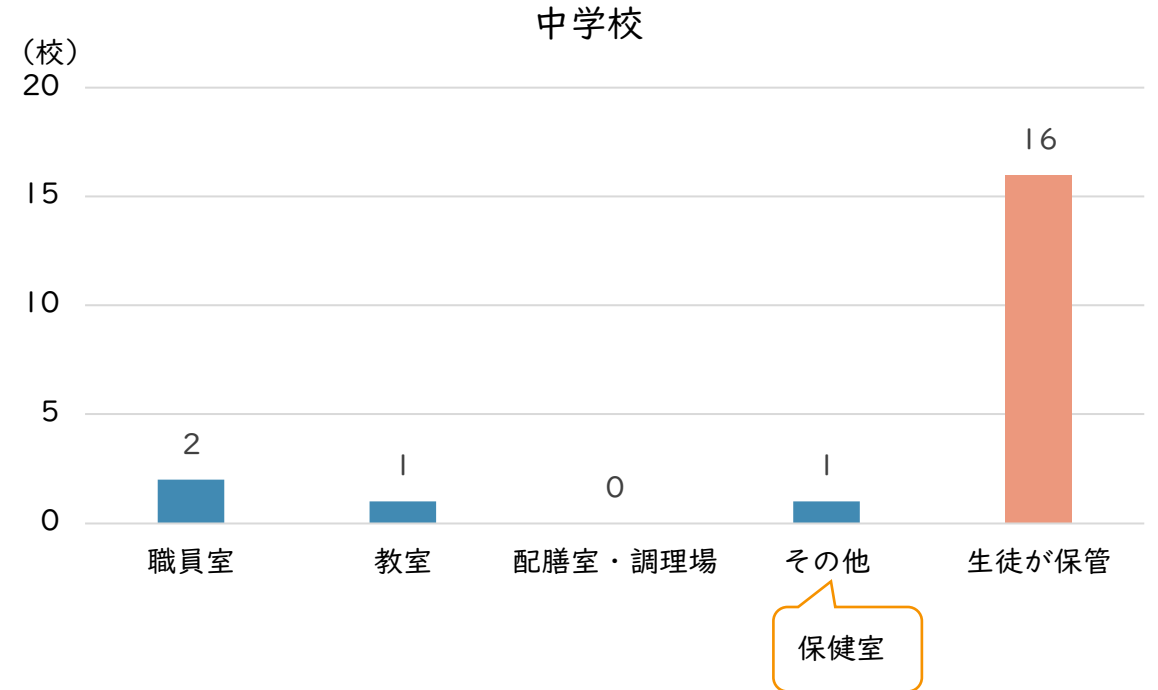
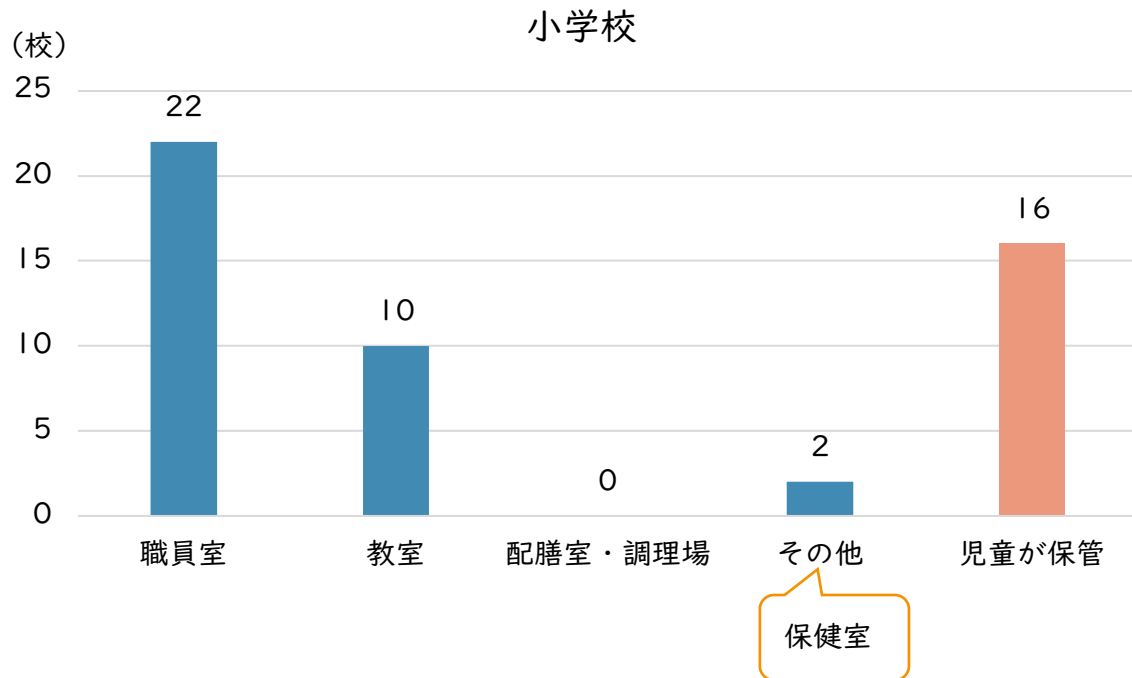


小学校61.9%、中学校15.8%が「はい」と回答し、小学校では、学校で保管している場合が多く、中学校では、生徒が個人で保管している場合が多い。

Q2. 弁当・代替食の保管をしていますか。

Q3. 弁当・代替食はどこで保管をしていますか。

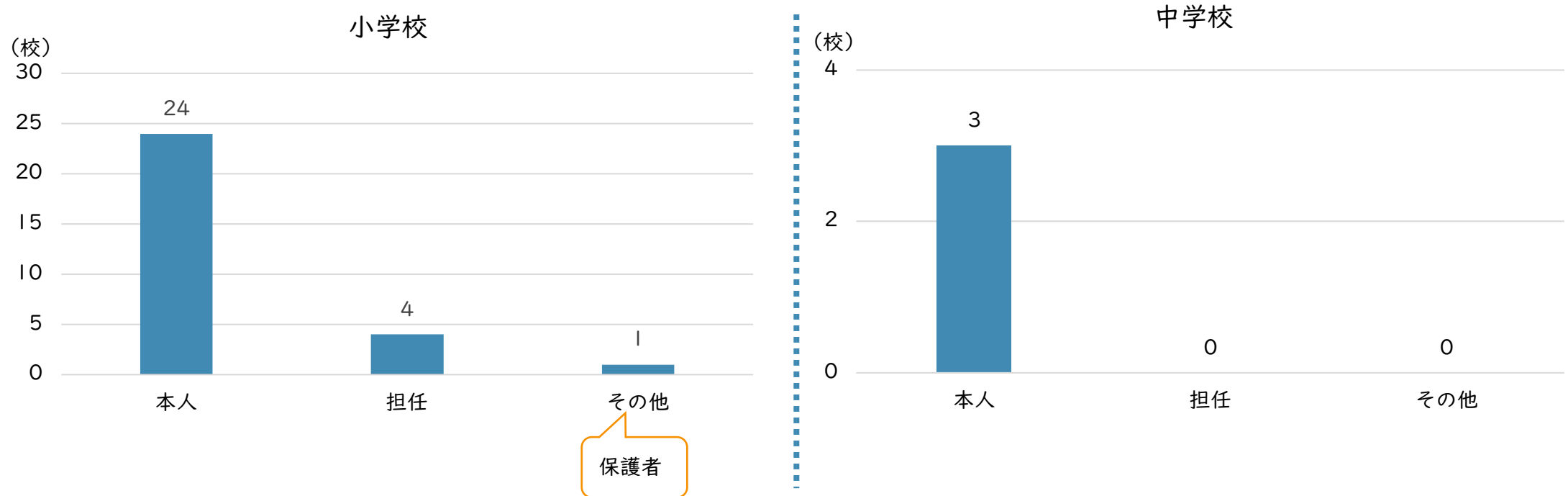
(複数回答あり)



小学校では、職員室での保管が1番多く、個人での保管が2番目に多い。中学校では、生徒個人で保管している場合が多い。

## Q4. 保管場所まで誰が持っていくですか。(複数回答あり)

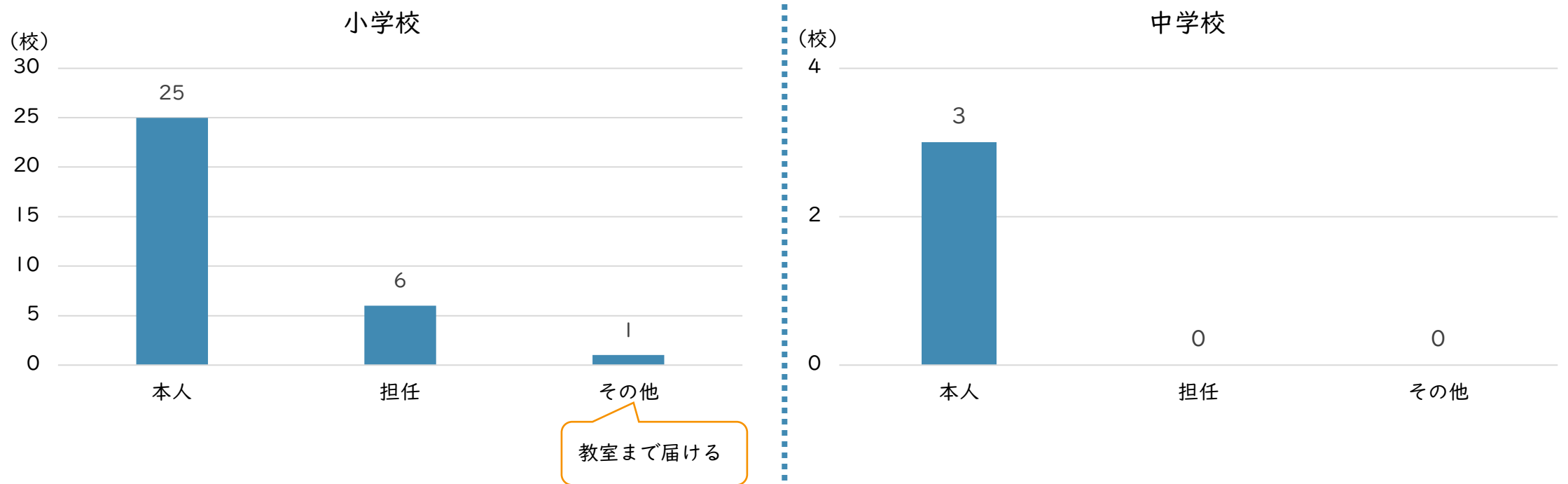
《Q2で「はい」と回答した学校が回答（小26校、中3校）》



小学校、中学校ともに、保管場所まで本人が持参するケースが最も多い。  
保護者が持参するという学校も1校あった。

# Q5. 保管場所まで誰が取りに行きますか。(複数回答あり)

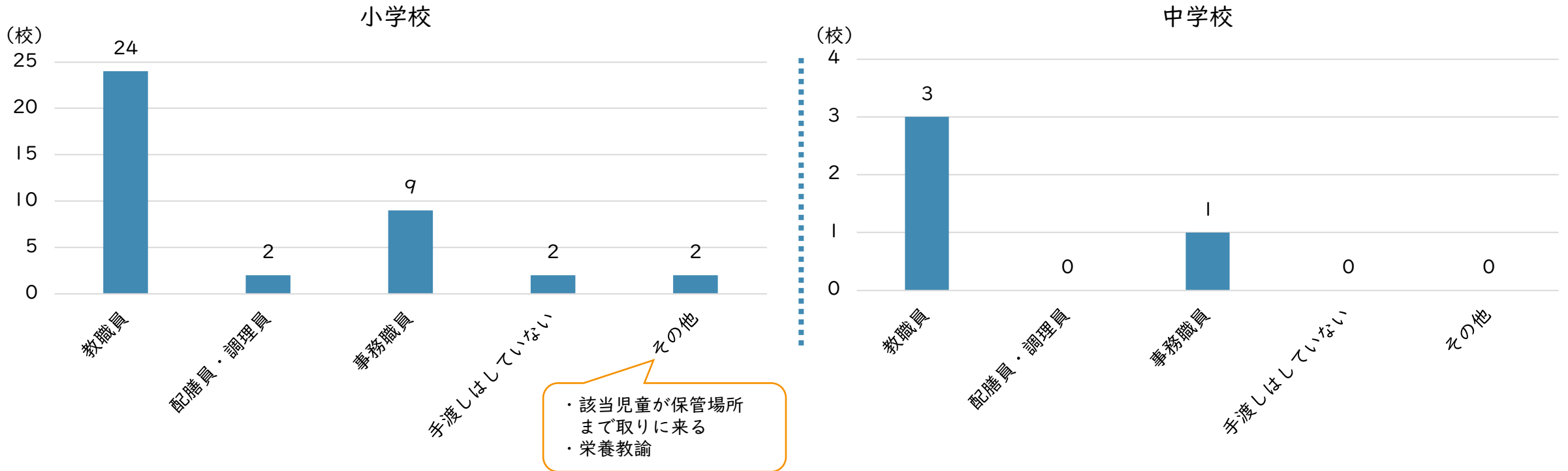
《Q2で「はい」と回答した学校が回答（小26校、中3校）》



小学校、中学校ともに、保管場所まで本人が取りに行く場合が多い。

# Q6. 弁当・代替食の手渡しは誰が行いますか。(複数回答あり)

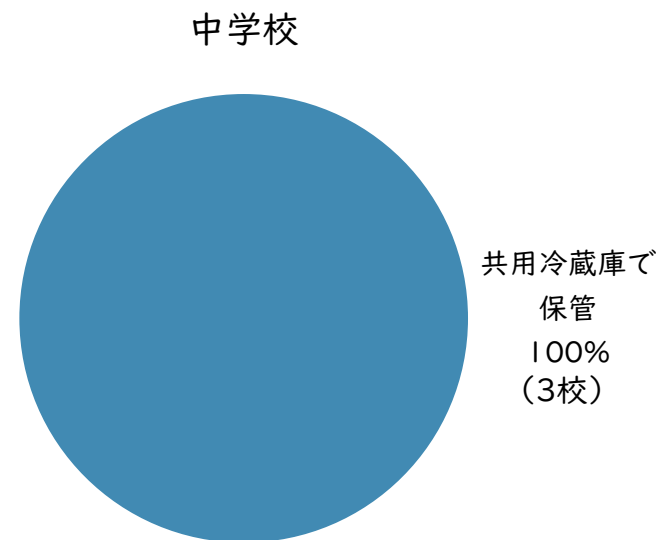
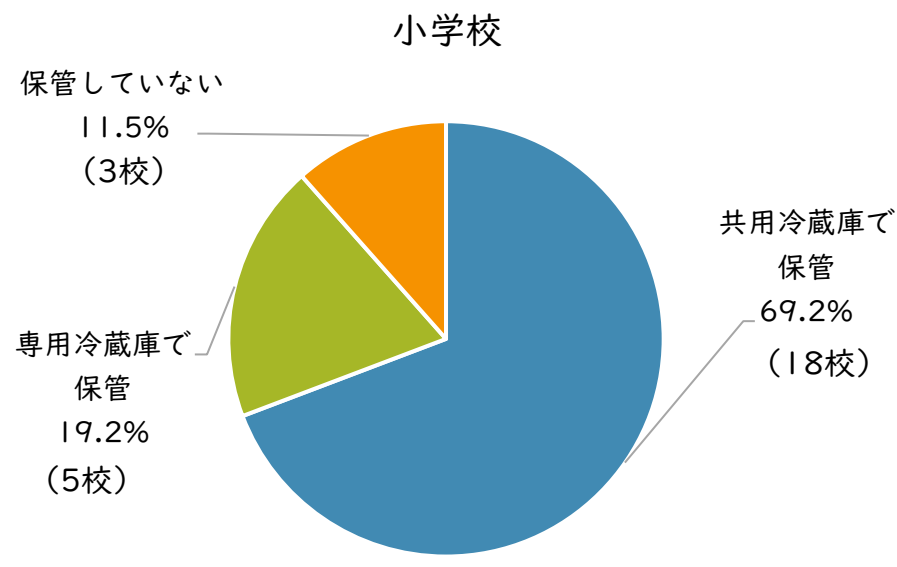
《Q2で「はい」と回答した学校が回答（小26校、中3校）》



小、中ともに教職員が手渡しをする場合が最も多い。小学校の中には栄養教諭が手渡しを行うと決めている学校が1校あった。

# Q7. 弁当・代替食を冷蔵庫で保管していますか。

《Q2で「はい」と回答した学校が回答（小26校、中3校）》

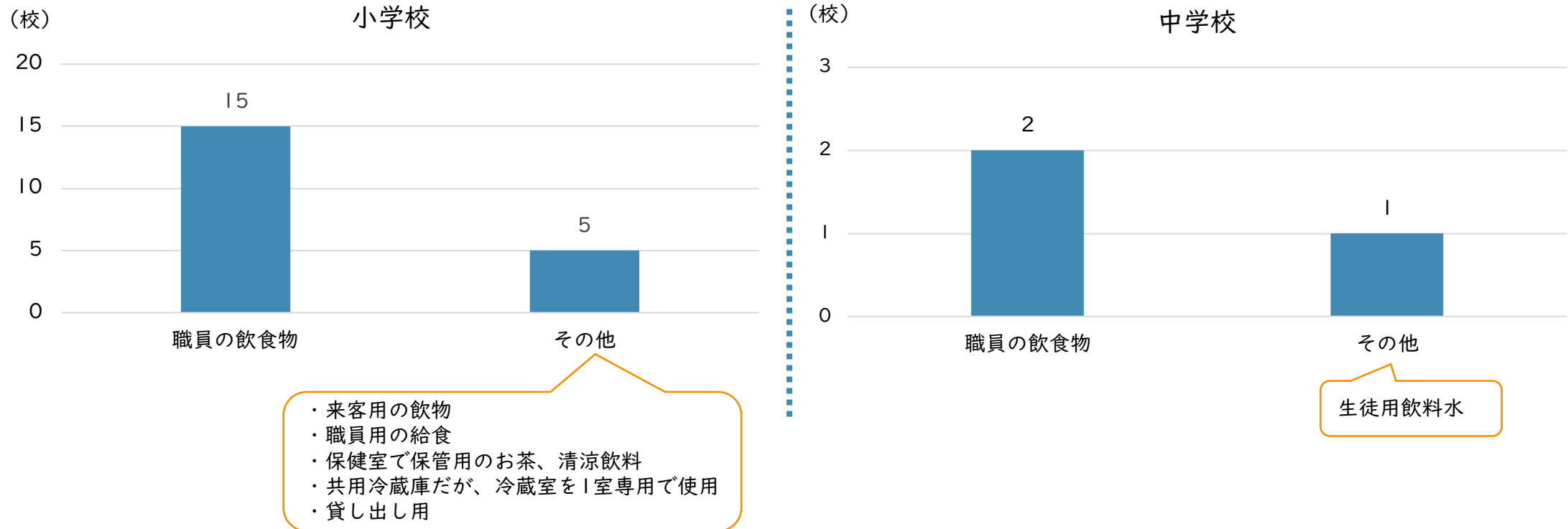


小、中ともに共用冷蔵庫での保管が最も多い。小学校の中には、専用冷蔵庫を有している学校が5校あった。



# Q 8. 共用冷蔵庫に入れているものは何ですか。(複数回答あり)

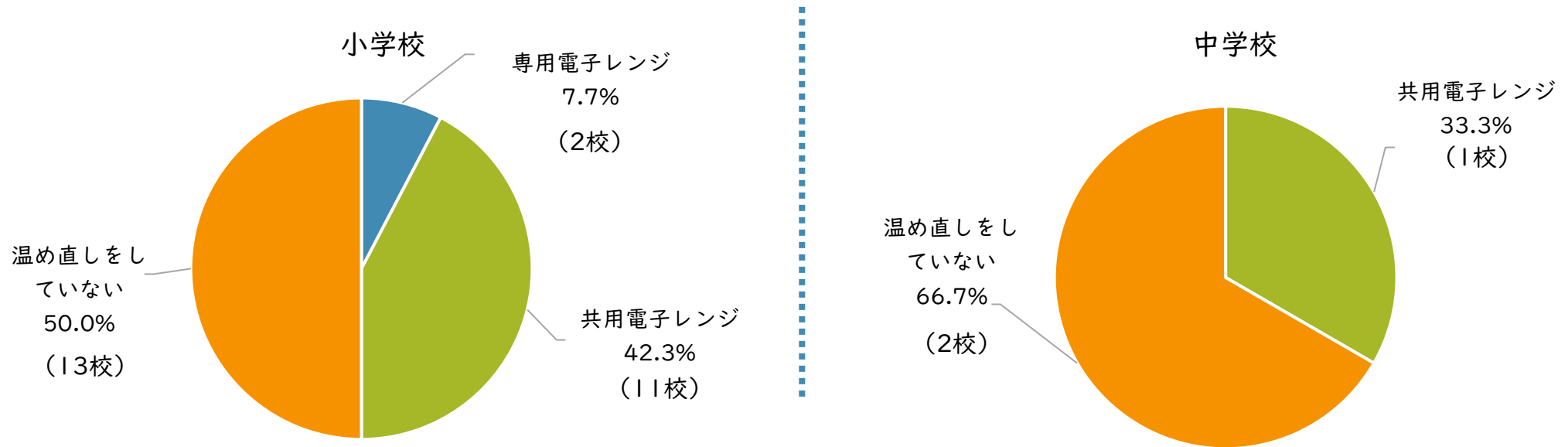
《Q7で「共用冷蔵庫で保管」と回答した学校が回答（小18校、中3校）》



小、中ともに共用冷蔵庫には職員のご飯を保管している学校が多数であった。乳や卵等のアレルギーを含む飲食物を保管している場合、コンタミネーションを引き起こす可能性が考えられる。

# Q9. 弁当・代替食の温め直しをしていますか。

《Q2で「はい」と回答した学校が回答（小26校、中3校）》

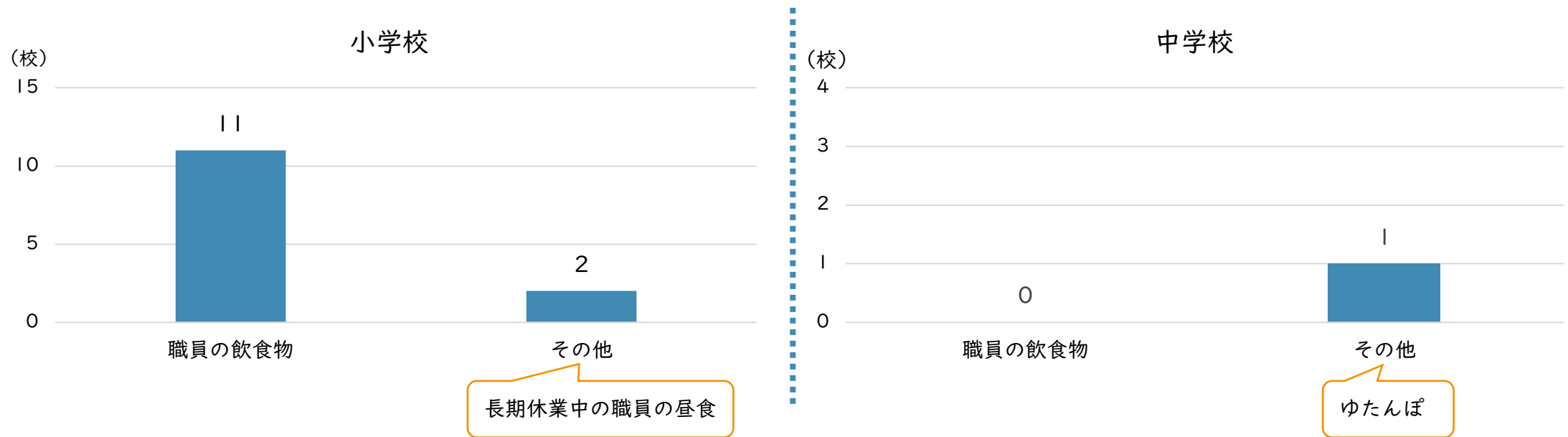


小中ともに、温め直しをしていない学校が一番多かった。が、共用電子レンジの使用も多かった。小学校では、2校が専用電子レンジを所有していた。

# Q10. 共用電子レンジで温めているものは何ですか。

(複数回答あり)

《Q9で「共用電子レンジで温め直し」と回答した学校が回答（小11校、中1校）》



小中ともに職員用として設置している電子レンジをアレルギー対応にも使用しているようであった。乳や卵等のアレルギーを含む飲食物を温めている場合、電子レンジ内でのコンタミネーションを引き起こす可能性が考えられる。

# まとめ

- 食物アレルギーを有する児童生徒の家庭から持参する弁当の取り扱いについて、8割以上の市内小中学校が対応をしている。
- 弁当の管理については、小学校の約6割が学校で保管している一方、中学校では、生徒が保管する割合が約8割と多くなっている。また、学校が職員室等で保管する場合、複数の弁当を同じ場所で保管するため、児童生徒の確認をはじめとした受け渡し等の対応が煩雑になることが考えられる。
- 職員室等で弁当を保管する学校のうち、多くの小中学校が冷蔵庫で保管しているが、そのうち7割が教職員の飲食物等を保管している共用の冷蔵庫であった。弁当の温め直しをしている学校は、小学校が約5割、中学校が約3割だが、冷蔵庫同様、共用の電子レンジを使用する機会が多い。弁当に使用していないアレルギー物質が保管・温めの対応により意図せず混入してしまうコンタミネーション等のリスクも考えられるため、学校での管理は検討する必要がある。